

# 森島 勇(美術学部デザイン)

---

## 『二十世紀の建築』と『1980年代のデザイン』について

『二十世紀の建築』は小冊子ではあるが広範な情報を偏りなく収めた一般向けの建築入門書である。「アーカイヴ展」が開催される直前の11月18日に著者のジェラルド・モニエ教授が来日され、芸大と日仏学院で講演をして下さる予定になっている。彼は自著が日本語になったことに大変感激したと書いて来ているので、展覧会を見せられないのが残念である。

『1980年代のデザイン』はカラー図版が主体になった年鑑的な図書である。世界同時出版ということで、次々と送られて来るゲラ刷りを訳しては出版社へ渡して非常に早く出たことを覚えている。当時は一過性のすぐ忘れられる本かと思っていたが、今ではいわゆるバブル時代を反映したデザインの書としての資料的な価値はあると思っている。

(2002年11月 教官アーカイヴ展に寄せて)